様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和８年　６月　１０日

群馬県知事　殿

提出者　　〒377－0004
住　所　　群馬県渋川市半田2470番地

氏　名　　ジェーシーボトリング株式会社
渋川工場長　　荒巻　　博史

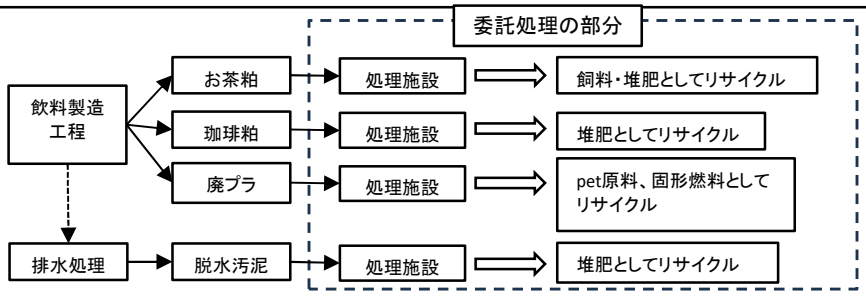
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0279-23-8810

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ジェーシーボトリング株式会社　渋川工場
事業場の所在地	群馬県渋川市半田2470番地
計画期間	令和８年 ４月 １日～令和９年 ３月３１日

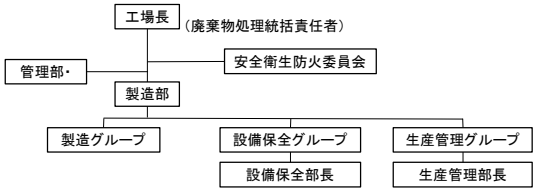
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：飲料・たばこ・飼料製造業
②事業の規模	売上高　4,480百万円
③従業員数	134名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

ジェーシーボトリング株式会社　渋川工場（廃棄物管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　7　年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	廃油						
排　出　量	2158.85 t	1898.64 t	32.99 t	1.7 t	t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

有価販売

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	廃油						
排　出　量	2000 t	1800 t	30 t	1 t	t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の取組）

有価販売量の拡大

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

各廃棄物（動植物性残渣・脱水汚泥・廃プラスチック類・廃油）置き場が、解りやすいように整理する

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

各廃棄物（動植物性残渣・脱水汚泥・廃プラスチック類・廃油）の分別及び、複合物の分解・分別の推進

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（　7　年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	廃油						
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

―

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	廃油						
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の取組）

―

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（　7　年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	廃油						
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

―

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	廃油						
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の取組）

―

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　7　年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	廃油						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）
―

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	廃油						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の取組）
―

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　7　年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	廃油						
全処理委託量	2158.85 t	1898.64 t	32.99 t	1.7 t	t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	1.7 t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	2158.85 t	1898.64 t	32.99 t	0 t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）
有価販売

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	廃油						
全処理委託量	2000 t	1800 t	30 t	1 t	t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	1 t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	2000 t	1800 t	30 t	0 t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の取組）
有価販売量の拡大

※事務処理欄